

まなびあいち

NO. 38
2012.10~12

愛知県生涯学習推進センター情報誌

編集・発行/公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県生涯学習推進センター
〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号(愛知県東大手庁舎2階)
TEL: 052-961-5333 FAX: 052-961-0232 E-mail: info@manabi.pref.aichi.jp



生涯学習情報いっぱい! 「学びネットあいち」
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>

学びネットあいち

検索



特集

ESD・ユネスコスクール

持続可能な発展
のための教育

《 INDEX 》

- 【特集】ESD・ユネスコスクール 1
- ふるさとで学ぶ 3
- わたしの夢づくり 5
- まなびい探検隊 6
- 財団だより 7
- 愛知県生涯学習推進センターだより 8
- ネットワーク機関紹介 9
- 講座・講習会、イベント情報 10
- おすすめ情報 知っ得 15

写真:「緒川小学校 お米を育てて植物の命を学ぼう」

特集

ESD・ユネスコスクール

ESDとは環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会が抱える様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のことです。

文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを「ESDの推進拠点」と位置づけ、加盟校の増加に取り組んでいます。愛知県でESDを進めている学校の取り組み事例を紹介します。



お米を育てて植物の命を学ぼう

東浦町立緒川小学校

個性化教育とESD

～総合学習「生きる」をESDの視点で見直す～

東浦町立緒川小学校は、知多半島の北東部に位置し、オープンスペースや個別化・個性化教育の推進校として有名な学校です。愛知県の公立小学校としては、初めてユネスコスクールに登録されました。ESDの視点に立った単元の開発・実践がなされています。研究の中心となって推進されている研究主任の原伊津子先生にお話を伺いました。



より探究的な学習を目指して

緒川小学校では、オープンスペースを活用した学習プログラムの研究・実践が35年間続いています。「総合的な学習の時間」が創設される以前から、総合学習「生きる」として実践に取り組み、体験学習からの学びを重視し、推進してきました。さらに、より広い視野で発展させようとしていた時に、ユネスコスクールとの出会いがありました。総合学習「生きる」をESDの視点で見直し、体験だけでなく、より探究的な学習になるように改善を図っています。

「生きる」を主題に

緒川小学校では、「生きる」を1年生から6年生までの共通主題として、学年間の関連性や子どもたちの思考を大切に、6年間の継続的な実践が行われています。総合学習「生きる」を中心に教科と関連づけた年間計画を立て、各学習活動にESDの視点を位置づけたESDカレンダーが作成されています。また、取り組みを改善するために「チェックシート型アプローチ」を用いて、「内容」と「方法」で実践を分析し、改善が行われています。

【各学年の活動】

- 1年…四季の行事を踏まえた活動をする。
【国の一年】
- 2年…自分自身を踏まえて、地域の自然や人々に触れる活動をする。
【探検】
- 3年…地域に根ざした方々から学ぶ活動をする。
【交流】
- 4年…身の回りの社会生活など、くらしに関わる活動をする。
【くらし】
- 5年…動植物、人間の生命に関わる活動をする。
【いのち】
- 6年…様々な人の生き方から学ぶ活動をする。
【生き方】

5年生の取り組み「お米を育てて植物の命を学ぼう」

今までは、田植えだけで終わっていたものを、ESDの視点から、一人一鉢の米作りを体験させようということになりました。自分の稲だから世話をしないと枯れる。稲に虫がついたら農薬を使うか手で取るのか切実感もち、自分の考えをもって取り組む姿が見られました。また、毎朝、水やりをしたり、生長の様子を観察したりすることにより、自分の稲に関心や愛着もち、米を育てるという学習内容をより身近に感じ、植物の命を感じることができました。

東浦営農センターや農家の方を招いて米作りについて話を聞きました。二人とも農薬は必要とされ、「農薬を使わないと、収穫量が半分になり、茶碗1杯分が半分になる」「農薬を使っても使わなくても米の味は変わらない」という話に子どもは関心をもちました。農薬使用の是非について話が展開され、授業の始めに「使わない」と、表明した子どもは一人でした。農薬を使わないといった子どもの考えは、「農薬が土に混じり、水に混じり、海に着いて魚が食べる」「害虫を食べる虫まで殺してしまう」と、命を考えた発言をしました。ともすれば、大勢の意見に押されて孤立したり、自分の思いを曲げてしまったりすることが心配されました。

しかし、一人でも堂々と主張し続け、周りの子どもたちもそれを受け止め、お互いに聞き合い学び合うことができたのは、今まで取り組んできた個を大切に教育の成果だと原先生は言われました。

このほかにもESDに関する取り組みや計画がなされています。例えば、国際理解教育として、外国の小学校と絵画の交換による交流を行っています。これは、絵画を交換するだけでなく、二つの国で一つの絵を完成させるものです。「このことは、ユネスコスクールを通じて知りました」と原先生。学校の中でESDの実践を意識して行うようになり、体験だけで終わらせない探究的な学習になってきたそうです。

子どもの確かな成長を支える教育活動に取り組む緒川小学校の先生方の指導のもと、これからも子どもたちが個性豊かで、他人、社会、自然環境とのつながりを大切に育っていくことを願い、学校を後にしました。



ESDは、持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development)の略称です。

環境学習を基盤としたESDの展開

ESDの視点で分析・実践

教師の支援の工夫

地域教材の開発

ESD新香山プランの開発

未来志向の子ども

岡崎市立新香山中学校

日本各地で、持続可能な社会に向けた様々な学びや活動が行われています。その活動は、ESDの要素を含んでいる取り組みです。ESDと呼ぶ・呼ばないにかかわらず、大切なことは、学校と地域社会が互いに交流して学びあい、一人ひとりが立場や世代を超え主体的に参加し、地域を変えていくことです。

学びあい

- ・子どもたちが主体的に学ぶ場をつくる
- ・地域の人、世界のひとと学びあう
- ・地域の歴史や文化を知り、未来を描く

- ・地域が抱える様々な問題
- ・異なる立場、異なる分野の人々が協働する
- ・持続可能な地域・社会の未来を描く

交流

環境を見つめ、考え、働きかける生徒の育成 ～環境学習を基盤としたESDの展開～

緑豊かな自然を生かした環境教育！

岡崎市の最北端にある新香山中学校。東の村積山を借景に、西に矢作川、北には巴川が流れており、周りを緑豊かな自然に囲まれた環境にあります。この環境を生かして、全校あげて地域に自生するササユリの保護活動に力を入れ、毎年下草刈りやササユリ採取を行っています。平成22年度から環境学習を基盤として、地域や生徒たちの実態に合ったESDの取り組みをしている新香山中学校で、研究主任の山内貴弘先生にお聞きしました。

動物たちとの共生社会を考えよう(1年生の取り組み)

学区では、サルやイノシシが人の居住区で田畑を荒らしたり、ササユリの花や根を食べたりする獣害が報告されています。1年生では、「森を取り巻く生き物や人間とのかかわりのあり方」「生物多様性の保全のために自分たちが行うこと」といったESDの視点に立って、生き物と人間の共生社会を考える取り組みが展開されています。

その取り組みの例として、岡崎市でイノシシを駆除している猟師の日浅さん(NPO 中部猟踊会)をゲストティーチャーに招いた授業がありました。獣害は何が原因なのか考える授業です。生徒たちは、「地域で進んでいる開発」「新東名の工事」「宅地開発」を原因に挙げました。

また、「高齢化による里山の保全ができない」「地球の温暖化による生息地の拡大」といった意見が出たところで、日浅さんの授業が始まりました。日浅さんは、猟師として猟の意義を生徒たちに話されました。「温暖化によるイノシシの出産が年に2回の場合がある」「越冬する幼体が増えたことによる生態系のバランスの崩壊」という事実を生徒たちは知り、動物たちとの共生社会について深く考えることができたようです。

「教師として、生徒の考えが揺れ動くようなゆさぶりの発問に心がけること、教師の考えを押しつけないこと、結論は求めず生徒が課題に向かい合うための支援をすることが大切です」と、山内先生。

持続可能な社会づくりのための共生を考えよう(2・3年生の取り組み)

2・3年生には、生徒たちが身の回りの環境問題について探究する中で、持続可能な社会を実現するために、今自分たちでできることを考え、実践していく姿勢を育てる教育を進めています。昨年の11月に、環境学習を進めている気仙沼市立唐桑中学校とテレビ会議を利用した授業が行われました。環境家計簿(エネルギーに対してどれだけの二酸化炭素を出しているか記録するエコチャレンジシート)の数値やエコ活動のアクションプランが比較検討され、生徒たちは、防災やエネルギーの視点からエコについて考えることができました。東北の人たちと環境家計簿を比較したことにより、生徒たちは、電気の使用量が多いことを知り、電力使用に対する省エネを意識づけする点で効果があったそうです。また、新香山中学校では、職場体験学習を行った事業所のエコの取り組みをまとめた発表会をしたり、エネルギー供給を考えるために発電所などの施設を見学したりして、世代を乗り越えた倫理感を学ぶ道徳の授業が行われています。

2つの学校を取材して、ESDの視点に立ち、教育を進めることは、未来や社会に目を向ける子どもを育てるだけでなく、持続可能な社会づくりの担い手を育成することになる重要な取り組みであると実感しました。



【ササユリの下草刈り】



【獣害と森の変化を語る猟師】

大切なのは人間と鳥獣が共存し合って生きていく事だと私は思いました。人間が自分達のことばかりでなく、鳥獣が暮らしやすい環境を作ったり、個体数の調節を行えば互いが気持ちよく暮らしていけるのではないかと思います。(生徒から日浅さんに宛てたお礼の手紙の一部から抜粋)



【唐桑中とのテレビ会議】

新香山中学校では、「環境教育の推進」を主題に3年間取り組んできた成果を発表する研究発表会が開かれます。

日時 平成24年11月14日(水) 13:10~16:15

会場 岡崎市立新香山中学校 連絡先 TEL0564-45-2026 FAX0564-45-7803

ふるさとで学ぶ



愛知県の各地で活動されている「あいち観光ボランティアガイド」のみなさん。活動を通して、地域の活性化に貢献することや、人と出会い、交流を広めていくことが、自身の生きがいにもつながっています。今回は安城市と弥富市に出かけ、地域で活躍するボランティアガイドさんにお話を伺いました。



ガイドのユニフォーム

安城ふるさとガイドの会

～安城の歴史と文化の語り部～



市の花サルビア

安城ふるさとガイドの会を知ってほしい

3日間で100万人を超える人が訪れる安城七夕まつりや、県下で最大の生産高を誇るイチジクで有名な安城。「日本デンマーク」と言われた安城も、今は自動車関連企業が進出して、工業のまちとしても発展し続けています。この土地でボランティアガイドをされている「安城ふるさとガイドの会」のみなさんにお話を伺いました。

「安城は、史跡や有名な寺院が結構あるんですよ。名の知れた観光地ではないが、みなさんに安城へ来ていただいて、安城の歴史と文化を知ってほしい。そして、我々の活動が県下に知れ渡り、誰もが知っている会にしたい」と、熱い想いを語られた事務局長の平岩政志さん。平岩さんは、安城市のPR大使を自認されています。

ガイドは心身の健康

この会は、安城市主催の「安城の史跡めぐり ウォーク」を受講された平岩さんが発起人となって、平成18年に発足しました。現在、会員は30名。ほとんどの方が60歳以上だそうですが、お話を伺っていると、年齢を感じさせないぐらい元気そのもの。人のために役立とうとする気持ちで活動されている方は元気なのかなと感じました。

「お客さんが退屈しないように史実だけでなく、エピソードも話す」「大きな声でゆっくり話す」がガイドの心構えの第一と平岩さん。そして、会員のみなさんは「伝説などを真剣に聞いてくださると自分が嬉しくなる」「ガイドではよく歩くので、自分にとっても健康でいられてよい」と話されました。みなさんの話を伺って、まさに「ガイドは巡り巡りて、心身の健康に還る」という想いがしました。

よく学び、楽しく活動

ガイドとして大切なことは、「郷土をこよなく愛していることはもちろん、郷土をよく知ることである。その上で、お客さんに分かりやすく伝えることが肝心」と平岩さん。学ぶ活動として毎月1回学習会を開いています。取材に訪れた日には、安城市歴史博物館の学芸員を講師に招いて、石川丈山（安城出身で江戸時代初期の漢詩の代表的人物、茶道、庭園設計にも精通していた）の学習会が行われていました。熱心に耳を傾ける中にも、和気あいあいの雰囲気は漂っています。会では、ガイドブックを作成せず、ガイドが自分で理解したことをアレンジして、個性を生かした案内をして、お客さんが退屈せず、しかも15分に1回は、笑顔になるように心がけているそうです。

平岩さんに寺院や博物館などを案内してもらいました。質問をすると年号や人物、エピソードなどが次から次へと出てくるのには驚きました。ガイドのみなさんも同じくらい良く知られると聞き感心しました。「ただ、会員は知識はあっても、ガイドする機会が少ないのが残念です。もっと安城に来てほしい。説明する機会が増えればガイドももっとうまくなるんだがね」と平岩さん。ガイドモデルコース（左表）を用意して、お客さんの希望に沿った案内ができるように日々研さんしています。ぜひ一度、安城へおいでん。



安城ふるさとガイドのみなさん



月に1回は学習会を開催



一向一揆の拠点ともなった本證寺

安城ガイドモデルコース

- ・ 東海道をめぐる
- ・ 安祥城址と松平をめぐる
- ・ 福蓋松平をめぐる
- ・ 丈山と弥厚の里をめぐる
- ・ 明治用水と日本デンマークをめぐる
- ・ 桜井松平をめぐる
- ・ 三河一向一揆をめぐる

詳細は安城市観光協会のホームページを参照



弥富ふるさとガイドボランティア

～愛される街づくりに協力したい～



きんちゃん

弥富市キャラクターマーク

愛知県の西南部に位置する市

江戸時代から金魚と文鳥の生産で栄えた弥富市は、愛知県の西南部に位置し、三重県に接しています。現在の市域の大部分は江戸時代以降に新田開発され、その名残がいたるところにあります。

弥富ふるさとガイドボランティアのみなさんがガイドをする「服部家住宅」は県内でも有数の古い民家で、主屋のほか表門、離れ座敷、文庫蔵などが国の重要文化財に指定されています。そこから約1 km南にある「薬師寺の大楠」は豊臣秀吉が舟をつないだとも伝えられています。昔は弥富駅の北が海岸線だったようです。現在では名古屋へ通勤通学が便利な地域として、駅周辺は住宅開発が進みマンションが立ち並んでいます。

宇宙にも行った金魚

弥富で流通している金魚は約25品種、養殖池（金魚田）が約80haあるそうです。金魚養殖の歴史は古く、江戸時代に始まり、日本一種類の豊富さを誇り、日本各地はもちろん、海外にも輸出されています。平成6年に向井宇宙飛行士が搭乗した「コロンビア号」に弥富の金魚「和金」が宇宙酔いの実験のために乗せられ、誰もが知るブランドとなりました。弥富市歴史民俗資料館にも22品種の金魚が飼育されています。また、中部国際空港セントレアやJR名古屋タカシマヤで弥富金魚展があると弥富ふるさとガイドボランティアさんからお聞きし、後日訪ねると初めてみる珍しい種類の金魚も多く、そのかわいらしい金魚の姿に癒されました。

ガイド活動を通じて、愛される街づくりに協力したい

「弥富ふるさとガイドボランティア」は、弥富市歴史民俗資料館主催による「ガイドボランティア養成講座」の平成20年度受講者に、弥富市文化協会でも歴史を学んでいた方が加わり、平成21年3月に会員24名で発足しました。「弥富市で生まれ育った私達が、知らなかったことを再認識でき、この街のよいところを知る機会となった。地元の人にも愛されるガイドボランティアになりたい。愛される街づくりに協力したい」と話されるみなさん。「発足してまだ3年あまりの会ですが、会員のみなさんが熱心で、観光ガイドの活動のほか、市主催イベントへの協力や地元企業等が主催するウォーキングツアーの歴史ガイド等、忙しく活動しています」と会長の吉田さん。会員のみなさんがガイド活動で心がけているのは、「分かり易い説明ができるように前もってよく調べ、大きな声でガイドすること。地元で育った人に聞いた貴重な話を手掛かりにしたり、他のグループの観光ガイドの方の手法を参考にしたりと日々勉強されています。月1回開催する定例会でも、活動報告や自主勉強会を開き、会員が互いに教え合い、学び合う機会を設けています。「弥富市や弥富の歴史に興味のある方、一緒に活動しませんか」楽しそうに語る会長の吉田さん。

あなたもガイドボランティアの扉を叩いてみませんか。



築400年の「服部家住宅」



JR名古屋タカシマヤの弥富金魚展



ガイドボランティアのみなさん



定例会の様子

愛知県観光ボランティアガイドのホームページ

⇒<http://www.aichi-kanko.jp/volunteer/index.html>

安城ふるさとガイドの会

事務局 平岩政志 090-2925-9438

弥富ふるさとガイドボランティア

弥富市歴史民俗資料館 0567-65-4355

問合せ先

あなたの旅をサポートします



わたしの夢づくり



自らの学びや経験を生かして地域で積極的に活動する方々を訪問し、実際に活動する様子や生の声を取材します。

互いを尊重し合える社会の実現に向かって！



森下 静子さん（平成 24 年度「地域活動実践講座」事例発表者）

あつみNPOネットワークの代表として、多くの市民や団体が互いに助け合うことで、ご自分の住む田原市が、より住みよい魅力ある地域となるよう精力的に活動されています。また、他にもいくつかの団体の活動に関わっておられ、多忙な中にも楽しむことを忘れない元気な森下さんに、田原福祉センターでお話を伺いました。

スタートはまちづくり

10年ほど前、田原市（旧渥美町）へ引っ越して間もない頃、新しいまちづくりを考える会に参加したことがきっかけで、“一人ひとりを尊重し合える社会づくり”とライフワークである“音楽”の2つを柱とした、具体的なまちづくりを考えるようになったそうです。

その後、森下さんのまちづくりに対する想いは、同じ想いを持つ周囲の共感を得て、音楽好きな仲間や、市民活動の同じマインドを持つ人々との出会いにつながっていきます。

平成 14 年、あつみNPOネットワークの設立に続き、女性会議ウイットWIT、あつみロビーコンサートと次々に団体を設立し、田原のまちに旋風を起こしました。

特に、あつみNPOネットワークは、平成 15 年度から多くの市民活動団体が交流する『あつみNPOの集い』を主催し、市町村や大学などを巻き込んだ情報交換の場として、活力ある地域づくりに大きな役割を果たしています。

常にアンテナを張って！

複数の市民活動団体の代表や渥美混声合唱団の常任指揮者と、様々な立場で活動に携わるとともに、田原市の男女共同参画や人権擁護、社会教育の委員にも就任している森下さんの行動力には感心するばかりです。旧渥美町の時代からここまで長く活動を続けられたのは、「気負わず気楽に、自分の歩幅で楽しんでやってきたこと。そして何よりも良い仲間恵まれたこと」だと言われます。

これからも、常にアンテナを高く張って課題を見つけ“私たちはこれがやりたい！学んでみたい！”という気持ちを原動力に、形にとらわれず、仲間とともに創りあげていくことを大切にしていきたいと、優しい笑顔の内に秘めた情熱が伝わってきます。



あつみNPOネットワークの
運営委員のみなさん

みんなが幸せになること

「夢は“みんなが幸せになること”。それはとても大きな夢だけれど、活動のすべて、それら一つひとつの小さな積み重ねが、夢につながっていく」と明るく話す森下さん。

現在は、来年5月に開催される渥美混声合唱団の定期演奏会に向けた練習に、最も時間をかけているそうです。会長、指揮者と立場は違って、人と人のつながりを大切にする関係でいたいと話されるとおり、気さくな人柄に、つい時間を忘れて話し込んでしまいました。この日、取材の後も、渥美混声合唱団の練習に足早に向かわれました。

田原のまちに、明るい歌声とともに、たくさんの幸せが届きますように！



ロビーコンサートで共演する
渥美混声合唱団のみなさん



問合せ先

あつみNPOネットワーク TEL/FAX 0531-32-3963（森下）

地域の活動や自らの活動を学生さんがレポートする「まなびい探検隊」。今回は生涯学習講座のサポートに取り組む様子をご紹介します。

まなびい探検隊

in 日本福祉大学



先回、ご紹介した日本福祉大学の生涯学習講座のお手伝いをする「LA」という活動に、この春、たくさんの仲間が入ってくれました。今回はその新入生の声をお届けします。

LAの活動は、「伝えること」の難しさを知る良い場所！

LA（生涯学習センターアシスタント）日本福祉大学 1年 中田健太

☆LAに参加したきっかけ

私は今年の4月に日本福祉大学に入学し、「オリエンテーション」で初めて「LA」という活動を知りました。先輩方の活動紹介で、『地域の方々と触れ合うことができ、さらには自分のパソコン技術のスキルアップにもつながる』という話を聞き興味を持ちました。私はもともとパソコンが好きでしたし、人に対して教えることも好きでした。また、大学に入ったら様々な人とつながりを持ちたいと思っていたので、「なりたい自分！」にちょうど合っていると思い、LAに参加することになりました。



▲オリエンテーションの様子

☆このような活動もしています



▲撮影会風景



LAはパソコン講座の他にも一眼レフやコンパクトカメラなど、カメラを使う講座にもアシスタントで参加します。私は、カメラを日頃あまり使うことがなかったので、カメラに関する知識は全くありませんでした。説明書を読みながらボタンを確認したりして、受講生の皆さんと一緒に日々勉強しています。

講師はプロカメラマンの方なので、自分で勉強するのはまた違った撮影のテクニックを教えていただき、私たちLAもとても勉強になります。

このように、パソコンだけでなく、様々な分野を学べるのもLAの良さの一つかなと思っています。

☆前期の講座を終えて

慣れないながらも先輩方と一緒に講座に参加しました。不安や戸惑いもありましたが、最初はマウスの持ち方、文字入力等の簡単な内容だったこともあり、世代の違う様々な方と触れあうこともでき、これなら「自分にもできる！」と思いました。しかし、講座が進むにつれ、内容も難しくなって、インターネットやWordなどの講義では、まだまだ自分の知らない部分がいくつもあり、先輩に頼る部分が多くありました。

また、知識だけでなく、相手にどのように伝えたら理解してもらえるのかという、コミュニケーション能力も、まだできていないことに気づきました。「伝えること」の大切さや難しさを実感することができました。今は、学ぶべきことはまだまだたくさんありますが、いつかは先輩方のようにしっかりと対応でき、受講生の皆さんに一つでも多く「ありがとう」と言って頂けるようになりたいです。



▲LA 打合せ風景

眼前に広がる青い海 この開放感を体験しませんか！



所長のひとり言



このシンボルマークは、美浜 MIHAMA の M を波として、太陽・丘・海をデザインし、全体として子どもを表現しています。このマークから分かるように、美浜少年自然の家は、小野浦海岸を一望する丘陵地に位置し、500人を収容できる海浜型社会教育施設です。平成元年に建てられ、ウォークラリー、砂の造形、地引き網、キャンプファイヤー、野外炊飯など数々のプログラムを通して「出会い、ふれあい、感動体験」を実践し、多くの学校や一般の方々に利用されています。潮の香りを浴びながら自然満載の当施設での足跡はきっと生涯の宝物となることでしょう。



杉浦 勉 所長

春



レッツ地引き網

夏



めざせトムソーヤ！

秋



干物作りと美浜の味覚

冬

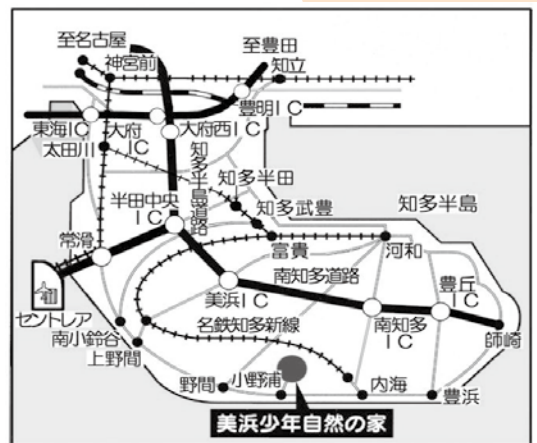


スキスキのりすき

参加者募集！ 干物作りと美浜の味覚

実際に魚をさばき、干物作りに挑戦！さらに、秋の味覚を堪能し家族で楽しみましょう♪

- ☆開催期日 11月10日(土)～11月11日(日) 1泊2日
- ☆募集期間 9月26日(水)～10月10日(水)
- ☆募集人数 10家族(40名)
- ☆参加料 大人 5,300円 中学生以下 4,600円



【お問い合わせ】
〒470-3236 愛知県知多郡美浜町大字小野浦字宮後1番地1
TEL 0569-88-5577 FAX 0569-88-5385
<http://www6.ocn.ne.jp/~mihama>

【自家用車の場合】 名古屋から約50km
知多半島道路—南知多道路「南知多インター」から約20分
【電車利用の場合】 名鉄知多新線「内海駅」から約3.4km

あいち 学びネットワーク フォーラム

～地域の絆をつなぐネットワークの力～

共に助け合う社会の形成に向けて、地域の絆やコミュニティの重要性が再認識される中、「生涯学習」を活かした地域づくりや人づくりについて、関係各機関が集い、地域が抱える様々な課題の解決への取り組みを学びながら、今後の連携や支援方を研究協議します。

- ・オープニング
「大獅子・小獅子の舞」
(半田市・県無形民俗文化財)
- ・基調講演
新海 英行氏
(名古屋柳城短期大学長)
- ・ワークショップ
テーマ
環境・福祉・防災
- ・パネルディスカッション
コーディネーター
新海 英行氏
パネラー
ワークショップ代表者

まなび愛

生き生き
人づくり
(環境)

きずき愛

協働による
地域づくり
(福祉)

ささえ愛

安心安全の
まちづくり
(防災)

地域の
絆



開催日時 平成24年10月27日 土曜日

午後12時30分より

会場・問合せ 愛知県生涯学習推進センター (愛知県東大手庁舎2階)

電話 (052) 961-5333 URL <http://www.manabi.pref.aichi.jp/center/>

※参加される方は、事前にお申込みください。(定員に達しない場合は、当日の参加も可能です。)

詳しくは、愛知県生涯学習推進センターのホームページをご覧ください。



自分で発見、体験できる環境学習施設

まなびや もりの学舎

愛・地球博記念公園

今回は、長久手市の 愛・地球博記念公園（愛称：モリコロパーク）にある「もりの学舎」取材しました。もりの学舎は、自然体験や工作教室などを通じて、楽しみながら環境について学ぶことができる施設です。

もりの学舎

もりの学舎は、昔ながらの木造校舎をイメージして造られた建物です。外壁はもちろん木でできており、中に入ってみると机やイス、ロッカーまでもが木を使って作られていることがわかります。そのため室内でも自然の香りを感じることができます。

周辺には落葉樹や常緑樹、季節の花が見られます。昆虫や鳥も生息しており様々な生き物を観察することができます。

体験を伴ったイベントや講座を実施

取材時には、夏休みということもあり、「夏休み環境学習講座」が実施されていました。この講座は、「森あそび名人」を目指して、森の案内人・インタープリターと一緒に森へ散策に出かけます。



もりの体験教室



もりの散策

触っていけない危険な植物や昆虫など、気をつけることを最初にみんなで確認して、さあ出発。

森へ入ると、インタープリターの「わからないものはまず聞いて！」という言葉に大人も子どもも「なにこれー？」「おもしろい！」「もによもによしてるけど・・・」と、何かを発見するたび声をあげて興味深く観察していました。

このような自然環境を活かした講座の他にも、木材等を使った工作講座も開催されていますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。

なお、スタッフのオススメは、土日祝日に開催さ

れている、インタープリターと歩く“かめの池ツアー”と“もりツアー”だそうです。森へ入り五感と想像力を使った遊びをしながら自然とのふれあいを学んでいきます。実は、このツアーでしか見学できない場所もあるとのこと。

他にも秋には、“おさんぽ de いきものみつけ”という自分だけの“ハンディびょうぶ”を作るイベントがあります。公園内を散策しながら、いきものに関するクイズに挑戦し、いきものスタンプを集めていきます。きっと散策が終わると、自分だけのハンディびょうぶが完成するだけでなく、始まる前とは違う景色が見えるはずですよ。

自然を知る

「自然は、日々姿が違います。それを感じながら、自然を知ってもらいたい。ほんの少しでも自然とふれあうことで親しみを持って欲しい。そのきっかけとして、もりの学舎に来てもらえれば。」と、職員の方が話されました。

もりの学舎は、植物の色や虫の声、風の音や太陽の光を感じながら、自然とふれあい、学び、教えてもらえる絶好の場所です。いつもは、なにげなく通り過ぎてしまう景色もゆっくり視点を変えながら見ることで新たな発見がいっぱいです。ぜひ森を学びに行かれてはいかがでしょうか。

“インタープリター”って??

- インタープリターとは自然と人との「仲介」となって 自然解説を行う人のこと。もりの学舎のインタープリターは、森からのメッセージを伝えてくれる森の案内人です。

〈問い合わせ〉

もりの学舎（愛・地球博記念公園内）
 住所：〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533 - 1
 TEL：0561-61-2315 FAX：0561-61-2328
 HP：（あいち環境学習プラザHP内）
<http://www.aichi-kankyo-gakushu-plaza-un.et.ocn.ne.jp>



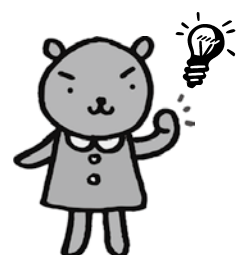
〈ご案内〉 学びネットあいち
ネットワーク機関募集



ネットワーク機関になって、「学びネットあいち」に、講座・イベントなどの学習情報を掲載してみませんか。詳しくは、「学びネットあいち」の情報提供機関・団体募集のページをご覧ください。

学びネットあいち <http://www.manabi.pref.aichi.jp>

	名称	日時	開催場所・その他
◆ 講座 ・ 講習会	広葉樹の整枝・剪定	10/26(金) 10:30~15:30	愛知県緑化センター【豊田市西中山町】 申込：9/26(水)~10/26(金) ※電話またはホームページから申込。 定員：50名 ※定員になり次第締切 受講料：無料 問合せ：愛知県緑化センター(Tel.0565-76-2109) 詳細： http://www10.ocn.ne.jp/~ryokka/ ○広葉樹の管理のポイントを学び、クロガネモチ、ウバメガシの整枝・剪定実習をします。
	中京大学公開講座 「モノづくりの哲学 —新時代の工学を展望 する—」	10/31(水) 15:00~18:00	中京大学名古屋キャンパス 【名古屋市昭和区八事本町 101-2 Tel.052-835-7216】 申込：~10/30(火) ※ホームページ、往復はがき、FAX(052-835-3980)にて受講日、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入し申込。 対象：どなたでも 定員：563名 ※定員になり次第締切 受講料：無料 詳細：インターネット「中京大学公開講座」で検索してください。 ○早稲田大学の橋本教授、産総研の持丸センター長、中京大学の輿水教授が、日本のモノづくりの未来を展望します
	一日鳥三昧	11/3(土・祝) 9:30~15:30	豊田市自然観察の森 【豊田市東山町 4-1206-1 Tel.0565-88-1310】 申込：10/24(水)~11/3(土) ※電話にて申込 定員：20名 ※定員になり次第締切 受講料：100円 詳細： http://www.toyota-kansatsu.com/ ○バードウォッチングウィークに野鳥観察をして小鳥の巣箱とブローチを作ろう(野鳥観察は雨天中止)
	おいしいコーヒーの 楽しみ方	11/11(日) 13:30~15:30	東谷山フルーツパーク 【名古屋市守山区大字上志段味字東谷 2110番地 Tel.052-736-3344】 申込：10/1(月)~10/20(土) ※往復はがき(1枚1人1講座)講習会名・講習月日・住所・氏名(フリガナ)・電話番号を記入のうえ申込。 定員：40名 ※応募者多数の場合は抽選 受講料：無料 詳細： http://www.fruitpark.org/ ○コーヒーの知識やおいしい飲み方を解説します。



	名称	日時	開催場所・その他
◆ 講座・ 講習会	第14回 県民公開講座	11/18(日) 13:15~14:15	あいち小児保健医療総合センター【大府市森岡町 Tel.0562-43-0500】 申込：当日受付 対象：子どもを持つ親向け 定員：200名 ※定員になり次第締切 受講料：無料 問合せ：あいち小児保健医療総合センター 詳細： http://www.achmc.pref.aichi.jp/ ○「21世紀 あいちの子ども健康フォーラム」を同時開催します。子ども向けの楽しいイベントもあります。
	東三河地区 子育て支援地域交流会 長島りょうがんトーク &ライブ 「そっとやさしく〜結〜」	11/25(日) 14:30~16:00	蒲郡市民会館 中ホール【蒲郡市栄町 Tel.0533-67-5151】 申込：当日受付 ※5名以上の団体で参加希望の場合のみ、2週間前までに連絡 対象：子どもを持つ親、子育て支援・教育関係者 受講料：無料 問合せ：愛知県教育委員会東三河教育事務所 詳細： http://www.higashimikawa.jp/info/detail.php?id=70 ○「子育て支援地域交流会」の第3部にあたります。トーク&ライブのみの参加も可能です。
	Webで情報発信 (ホームページ作成、 HTML編)	12/8(土) 9:00~16:30 12/9(日) 9:00~15:40 (2日間)	愛知県立名古屋高等技術専門学校 【名古屋市北区安井2-4-48 Tel.052-917-6711】 申込：10/23(火)~11/26(月) ※Eメール、または往復はがきで申込 対象：現在職業に就いている個人の方で講習日2日ともに出席できる方(※基本的なパソコン操作を習得している方で、HTMLの基礎を習得したい方) 定員：25名 定員になり次第締切 受講料：2,300円 テキスト代：840円 詳細： http://www.pref.aichi.jp/shugyo/koukyou/nagoya/nyukou_skill.html ○HTMLのタグ説明、HTMLによるページ作成と修正方法、CSSを用いたページ作成、サーバーへのアップ方法
◆ 展覧会・ 展示会	猪熊弦一郎展 『いのくまさん』	~11/4(日) 9:00~17:00 (入館は16:30まで)	刈谷市美術館【刈谷市住吉町 Tel.0566-23-1636】 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日を休館) 入場料：一般800円、大高生600円、中学生以下無料 詳細： http://www.city.kariya.lg.jp/museum/ ○「顔」「鳥」「猫」「色」「かたち」…。猪熊弦一郎(1902-93年)が描いたモチーフや特徴にスポットを当て、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵品約120点を展示。
	特別展 「御一新と宿場」	10/6(土)~12/9(日) 9:00~17:00 (入館は16:30まで)	一宮市尾西歴史民俗資料館【一宮市起字下町 Tel.0586-62-9711】 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日を休館) 入場料：無料 詳細： http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/division/rekimin/index.html ○あまり知られていない明治初期の宿場や街道沿いに暮らす人々から見た、御一新(明治維新)の内実を紹介します。
	名都美術館開館 25周年記念 麗しき女性の美 上村松園・鏑木清方・ 伊東深水	10/6(土)~12/16(日) 10:00~17:00 (入館は16:30まで)	名都美術館【長久手市杖ヶ池 Tel.0561-62-8884】 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日を休館) 入場料：一般1,000円、大学生700円、中高生500円 詳細： http://www.meito.hayatele.co.jp/ ○本展では、雅やかな教養が匂うばかりの作品を集めてご紹介いたします。開館25周年を迎えた“名都美術館の美人画コレクション”も改めてご覧ください。

	名称	日時	開催場所・その他
◆ 展覧会・ 展示会	特別企画展 アール・デコ 光のエレガンス	10/6(土)~12/24(月・祝) 9:30~16:30 (入館は16:00まで)	愛知県陶磁資料館【瀬戸市南山口町 Tel0561-84-7474】 休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日を休館） 入場料：大人 900 円、高大生 700 円、中学生以下は無料 詳細：http://www.pref.aichi.jp/touji ○本展では、ラリック、ドーム兄弟、セーヴル国立磁器製作所などによるガラス製・磁器製のさまざまな照明器具を中心に、フレンチ・アール・デコの煌めくエレガンスを紹介します。
	近代日本画の名作 ～描かれた日本の美～	10/13(土)~11/25(日) 9:00~17:00	豊橋市美術博物館【豊橋市今橋町 Tel0532-51-2882】 休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日を休館） 入場料：一般・大学生 1,000 円 小中高生 400 円 詳細：http://www.toyohaku.gr.jp/bihaku/ ○明治から現代までの画家たちの作品により近代日本画の流れを紹介します。
	ガレ & ドーム テーブルウェアと香 水瓶展	10/30(火)~ H25/4/21(日) 10:00~17:00 (入館は16:30まで)	大一美術館【名古屋市中村区鴨付町 Tel052-413-6777】 休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日を休館） 入場料：大人 800 円、高大生 600 円、小中生 400 円 詳細：http://www.daiichi-museum.co.jp ○エミール・ガレやドーム等のテーブルウェア類、当時芸術表現の一分野として確立された香水瓶を中心に展示します。
	プラティスラヴァ 世界絵本原画展 広がる絵本のかたち	11/3(祝・土)~ 12/24(振休・月) 9:00~17:00 (観覧券の販売は16:30まで)	高浜市やきものの里かわら美術館 【高浜市青木町 Tel0566-52-3366】 休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日を休館） 入場料：高校生以上 600 円、中学生以下無料 詳細：http://www.takahama-kawara-museum.com/ ○世界最大規模の絵本コンクールの受賞作と日本からの出品作品を展示。また特別展示として、日本のしかけ絵本とスロヴァキアのイラストレーション作品を紹介します。
	弥生人の造形美 ～とよかわの北と南から～	11/10(土)~12/16(日) 9:00~17:00	桜ヶ丘ミュージアム【豊川市桜ヶ丘町 Tel0533-85-3775】 休館日：月曜日 入場料：無料 詳細：http://www.city.toyokawa.lg.jp/enjoy/sakuragaokamuseum.html ○初めて里帰りする銅鐸や2千年の時を超えてめぐり合う兄弟銅鐸などをご覧ください。
◆ 遊び・ 体験	おさんぽde いきものみっけ	10/14(日) 10:00~15:30	愛・地球博記念公園（モリコロパーク） 【長久手市茨ヶ廻間乙 Tel0561-61-2315】 対象：どなたでも 参加費：無料 問合せ：あいち環境学習プラザ（Tel052-972-9011） 詳細：http://www.aichi-kankyo-gakushu-plaza-unet.ocn.ne.jp/ ○身近な自然とのふれあいのなかで、季節を感じ、生き物とのつながりを知る。
	冬のものづくり体験 2012	11/1(木)~ H25/2/28(木) 9:00~17:00 (受付は16:30まで)	豊田市近代の産業とくらし発見館 【豊田市喜多町 Tel0565-33-0301】 対象：どなたでも 定員：100名 ※定員になり次第締切 参加費：100円 詳細：http://www.toyota-hakken.com/top.html ○絵馬、はしごくだり等の作成

	名 称	日 時	開 催 場 所 ・ そ の 他
◆ 遊 び ・ 体 験	リコモに乗って世界旅行! 「リコモでワールドラリー」	11/3 (土・祝) 10:30 受付開始	リコモ各駅およびその周辺施設 申込：電話にて受付 対象：英語・その他の言語を使ってコミュニケーションを楽しみたい方 定員：600名 参加費：500円 リコモ一日乗車券(大人800円、小人400円) 問合せ：NPO法人 フィール・ザ・ワールド (Tel0561-67-1060) 詳細： http://www.feeltheworld.jp/ ○リコモ駅・周辺施設にて外国のラリーポイントを設置し、その国の人達とコミュニケーションを取りながら駅をめぐる。
	たんトピア 音楽隊♪	11/18 (日) 9:00~15:30	中部電力(株)へきなんたんトピア 【碧南市港南町 Tel0566-41-8500】 対象：子ども 参加費：無料 詳細： http://www.chuden.co.jp/hekinan-pr/ ○発電所探検ツアー、工作、館内ゲーム、キッズサイエンスを行います。詳細は1ヶ月くらい前から受付、ホームページでお知らせします。
	セレクトナの森の研究室 「ニツ池の野鳥を見よう」	11/18 (日) 9:30~11:30	大府市自然体験学習施設 ニツ池セレクトナ 【大府市横根町Tel0562-44-4531】 申込：10/16(火)~11/11(日)電話又は窓口にて申込。 対象：どなたでも 参加費：無料 問合せ：大府市自然体験学習施設 ニツ池セレクトナ 詳細： http://www.seletona.com/ ○ニツ池公園ならではの、森やため池がある環境に暮らす冬鳥を観察します。3月まで毎月1回開催します。
	<秋季> シニアソフトテニス大会 (ミックスタブルス)	11/19 (月) 9:30~16:00 (予備日 11/26)	愛知県一宮総合運動場【一宮市千秋町 Tel0586-77-0500】 申込：10/12(金)10:00~※所定の申込書に必要事項を記入、運動場窓口、又はFAX(0586-77-0699)まで申込。 定員：16組(ミックスタブルス)※定員になり次第締切 参加費：1組2,000円 詳細： http://homepage2.nifty.com/itinomiya/ ○女性50歳以上、男性60歳以上の異性のダブルス大会です。
	県民交流事業 「ファミスポフェスタ」	11/23 (金・祝) 10:00~16:00	愛知県体育館【名古屋市中区】 対象：どなたでも 参加費：無料 問合せ：(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 (Tel052-241-9101) 詳細： http://aichi-kyo-spo.com/ ○子どもたちに、からだをうごかすたのしさを味わってもらい、親も一緒に参加することで親子の絆を深め、合わせて参加者相互の交流を図ります。
	家族で食す! ~手作りこんにゃくで おいしいおでん~	11/24(土) はじめの会 14:00 11/25(日) おわりの会 13:00 (1泊2日3食付)	愛知県野外教育センター【岡崎市千万町町 Tel0564-83-2221】 申込：10/20(土)~10/31(水) 対象：3才以上の子どもとその家族 定員：25家族80名 ※申込多数の場合抽選 参加費：大人5,200円、中学生以下4,500円 詳細： http://homepage3.nifty.com/yagaicenter ○こんにゃくって何からできているの?冬に美味しいおでんの具材『こんにゃく』を手作りし、そのこんにゃくを使っておでんを作ります。夜は懐中電灯を持ってナイトハイクにでかけます。

	名 称	日 時	開 催 場 所 ・ そ の 他
◆遊び・体験	カウントダウン 2013	12/8(土)~12/9(日) (1泊2日)	愛知県旭高原少年自然の家 【豊田市小滝野町坂 38 番地 25 Tel0565-68-3200】 申込：11/5(月)~11/14(水) ※官製はがき、メール、FAX (0565-68-3203)、などで申込。 対象：小学生以上の子どもとその家族 定員：90名 ※応募者多数の場合は抽選 参加費：大人 5,500 円、中学生以下 4,800 円 詳細： http://www.hm11.aitai.ne.jp/~asahi ○親子で、自然素材を生かしたクリスマスリースを製作したり、ハンドベルのコンサートを楽しめます。
	森の教室 一森の恵み を活用しよう 「木材、竹、ツルなど を使った工作」ー	12/9(日) 10:00~15:00	あいち海上の森センター【瀬戸市吉野町】 申込：10/9(火)~11/25(日) ※はがき、FAX(0561-21-9298)又はE-mail (morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp)に申込 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員：30名 ※応募者多数の場合は抽選 参加費：無料(但し傷害保険料1人30円自己負担) 申込・問合せ：NPO法人 海上の森の会 (〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1 あいち海上の 森センター内 Tel0561-21-9298) 詳細： http://kaishonomori.com/ ○森の資材を活用した物づくりのプログラムです。森の恵み を感じ、楽しんでいただけます。弁当・飲み物持参
	もういくつ寝ると お正月	12/15(土)~12/16(日) (1泊2日)	愛知県美浜少年自然の家【知多郡美浜町 Tel0569-88-5577】 申込：11/1(木)~11/15(木)※はがき、メール、FAXで申 込、詳しくは電話でお問い合わせください。 対象：小学生以上とその家族 定員：10家族 40名 ※応募者多数の場合抽選 参加費：無料(但し、食事代・材料代の実費として1名2,750円) 詳細： http://www6.ocn.ne.jp/~mihama ○昔ながらの日本の風習や遊びを通じて、家族とのふれあひ を楽しみましょう。餅つきを家族で体験しよう。
◆コンサート	音楽の絵本 JIVE(ジャイブ)	11/23(金・祝) 14:30 開場 15:00 開演	豊川市小坂井文化会館(フロイデンホール) 【豊川市伊奈町 Tel0533-78-3000】 申込：市内文化施設にて発売中、電話申込受付中 入場料：一般 2,500 円、中学生以下 500 円 詳細： http://www.city.toyokawa.lg.jp/enjoy/froiden.html ○今回はいつものクラシックとはひと味違う、にぎやかな ジャイブバージョンでお届けします。
◆その他	こどもの国秋まつり	11/3(土・祝)~11/4(日) 10:00~16:00	愛知こどもの国【西尾市東幡豆町 Tel0563-62-4151】 入場料：無料 詳細： http://www3.ocn.ne.jp/~a-kodomo/ ○秋空の下、地元物産展やゲームコーナー、各種出演イベン ト・パフォーマンスなどを行います。みんなで遊びに来てね。
	教育相談こころの電話 052-261-9671	年末年始を除く毎日 10:00~22:00	対象：青少年とその保護者 相談内容：いじめ、不登校、発達障がい、学校生活、進路・ 適性など 詳細： 教育相談こころの電話 で検索してください。
	電話相談 「がん心のケア ほっ とライン」 052-836-7565	毎週木曜・金曜 10:00~16:00 (祝日と年末年始は休み)	がん心のケアの会 対象：がん患者さん、ご家族・ケアする方 相談内容：つらいこと、お困りのこと、なんでもお話を ください。傾聴に努め、病を乗り越えて勇気と希望をもっ て生きることができるよう、お手伝いいたします。

